

第10回記念

とし子の会
松倉とし子後援会

松倉とし子

ニューイヤーコンサート

The Sound of Music

ザ サウンド
オブ ミュージック

2020

1.15 wed

パレスグランデール

[本館2F エアルアンティス]

開場 18:00 開演 18:30

チケット 10,000yen

(オードブル・お飲物付・税込)



鹿島武臣



松倉とし子



篠崎仁美



ベイビー・ブルー



松倉望

お問い合わせ 090-5590-0670 「とし子の会」山形支部長 谷口

Program

ミュージカル ザ・サウンド・オブ・ミュージックから

- ・サウンド オブ ミュージック
- ・ドレミの歌 ほか

ミュージカル メリーポピンズから

- ・チムチムチェリー
- ・お砂糖ひとさじで ほか

- ・ミセスロビンソン

- ・雨にぬれても
- ・虹とともに消えた恋
- ・風のマーチ
- ・喜びも悲しみも幾年月
- ・真夜中のギター ほか

- ・早春賦

- ・浜辺の歌
- オペラ「フィガロの結婚」から
- ・もう飛ぶまいぞ この蝶々 ほか

松倉とし子 (ソプラノ) *Toshiko Matsukura*

Profile



オペラ「フィガロの結婚」(スザンナ役)でデビュー後、数々のオペラの主役を演じる。作曲家中田喜直氏に「日本歌曲を歌うのに大切なものを全て具える」と高く評価され、氏の歌曲、抒情歌、童謡の多くをレパートリーとして、2000年5月に同氏が亡くなる直前まで全国でコンサート活動を共にしたほか、多数のCDを制作。音楽誌上で高評価を受けながら、サントリーホール、カザルスホールなど多数のホールでリサイタルを継続。年間80回に及ぶ演奏活動をこなす。

中田喜直が松倉とし子の声に合わせて作曲した「金子みすゞ詩による童謡歌曲集」は初演から大きな感動を呼び、同氏とのコンサートの中心プログラムとなり全国のホールから招かれ演奏を重ねた。東日本大震災以降は「こたまでしょうか」を求める声がさらに増え続けている。2001年6月にはウィーン楽友協会ホールでの中田喜直作品コンサートに出演。世界中に「金子みすゞの心」を広げながら、NHK-TV「金子みすゞに捧ぐ・松倉とし子音楽ファンタジー」「みんなの童謡」、NHK-FMへの出演で全国のファンに優しい歌声を届けている。

“中田喜直・松倉とし子・ボニージャックス”3つの心のハーモニー”コンサートをスタートさせた20年前から、ボニージャックスとのステージは数多く、レパートリーは童謡からポップスまで幅広い。

故郷山形では、楽しい話をさみながらのディナーショーや、スイートコンサート、自在なピアノアレンジによる歌声茶論など、多種多様なステージを重ねている。また、中田喜直氏とスタートさせた「童謡の日コンサート」は2019年夏に26回目を開催し、その模様をYBC山形放送にて放映された。

「第29回日本童謡賞特別賞」「NHK東北ふるさと賞」「山形県芸術文化協会賞」「山形市政文化功労賞」など受賞多数。

2015年1月から毎週日曜朝、YBCラジオ「松倉とし子うたの花束」がスタート。多くのリスナーに愛され、好評放送中。

鹿島武臣 (バリトン) / ボニージャックス *Takemi Kashima*

1958年(昭和33年)早稲田大学を卒業したグリークラブ出身の4人(西脇久夫、大町正人、鹿島武臣、玉田元康、現在大町に代わり2003年より吉田秀行が加入)は、作曲家・故 磯部 俣(いそべ とし)氏より「ボニージャックス」と名付けられて、コーラス・グループを結成しました。

ボニージャックスのレパートリーは、世界各国の民謡、歌曲、黒人霊歌、ジャズ、ポピュラーナンバーと非常に幅広く、5,000曲以上のコーラスアレンジ楽譜を保持しています。

そして常にその中心として歌い続けてきた日本歌曲、抒情歌、民謡、子供の歌ではとりわけ高い評価を受けています。ボニージャックスとと呼ばれ美しいハーモニーと清潔で明快な歌い方は聞く人の心をなごませ豊かにしてくれます。

2008年に結成50周年を迎え、全国各地及びアジア各国等にてコンサート、ディナーショーを中心に精力的に活動を続けています。



ベイビー・ブー *Baby, boo*



2002年メジャーデビュー。2011年から新宿の「うたごえ喫茶ともしび」に通い始め、今までに「うたごえ喫茶アルバム～ふるさとのうた～/たびだちのうた～/～愛のうた～」を「ともしび」監修のもと発売。NHK「歌謡コンサート」やTV東京系「木曜8時のコンサート」BS-TBS「由紀さおり 素敵な音楽館」などに出演。

現在では「日本武道館で一万人の大合唱祭を行う」という目標を掲げ、全国各地でうたごえ喫茶音楽会を開催している。2017年11月22日に10年ぶりのオリジナルシングル「ごめんね...ありがとう」をリリース。

また、ボニージャックスと9人のコーラスユニットの結成や、由紀さおりのコンサートにバックコーラスとして参加もしている。

松倉 望 (バリトン) *Nozomi Matsukura*

3歳からコンサートステージに立ち、11歳で「母と子の思い出」(キングレコード)を制作。美しいボーイソプラノがバリトンに変声し、16歳の夏、山形テルサホール開催の「童謡の日コンサート」に出演。山形交響楽団の演奏でボニージャックスと共演。同年冬、第2作CDを制作。

2015年・2016年、東京伝承ホールコンサートに出演。同年冬、松倉とし子・ボニージャックスと共に第3作CD「母と子の思い出パートⅢ」(キングレコード)を制作。

2017年12月、山形市文翔館で開催されたオペレッタ「カミナリ親子と長者どん」に親雷役で出演。

2018年に山形市民会館主催ミュージカル、2019年同会館主催のオペレッタに出演。

現在、アマデウススコア団員。全国で数多くのコンサートに出演。声楽を鈴木集氏に師事。



篠崎仁美 (ピアノ) *Hilomi Shinozaki*

桐朋学園大学ピアノ科卒業後、ジャズピアニストの父、篠崎哲也の影響を受け、ポピュラーピアニストとしてデビューする。

1984年 クラシックアンサンブルで「蓼科高原音楽祭奨励賞」を受賞。

1987年 「NHK軽音楽オーディション」で自作の曲を弾き語り合格。

1988年 博品館劇場での劇団未来劇場公演でピアニスト兼女優として出演。

1991年 フジテレビ「さんまのあっぱれ大先生」に音楽の先生役で出演。

1996年 第26回「日本童謡賞特別賞」受賞。

2015年10月 自身のプロデュースによるニューアルバム「仁美のララバイ」を発表。

現在、歌って喋れるピアニストとして多彩に活躍中。繊細でダイナミックな演奏で聴衆を魅了する。

その多彩な活動は異色のエンターテイナーとして脚光を浴びている。

